北九州市立足原小学校　学校通信　第４号

あ　し　は　ら

令和５年５月２９日（月）発行
校長　辻　井　美　恵
北九州市小倉北区足原二丁目８番１号
TEL:（０９３）９２１－３２０６

＜学校教育目標＞　豊かな心と健やかな体を育む教育の充実　確かな学力の向上を図る教育
＜目指す子ども像＞　いきいき　にこにこ　もりもり
【自分から学ぶ子ども‥いきいき】【思いやりのある子ども‥にこにこ】【たくましい子ども‥もりもり】

現代の子どもに足りないもの・・・
それは「３つの間」

“今の子どもには、３つの「間」が足りない”

かなり前の新聞記事ですが、上記のタイトルの記事が掲載されていました。３つの「間」とは、「仲間」、「空間」、「時間」だそうです。仲間とは一緒に遊ぶ仲間、空間とは十分に体を動かすスペース、時間とは思い切り遊ぶ時間だそうです。記事の最後は、“こうした状態を放置しておけば、子どもの発達にも深刻な影響を及ぼしかねない”という文章で結ばれていました。

実際、私たちが子どもの時のように、家の周りや公園などで、集団で遊んでいる子どもたちを見る機会が少なくなってきているように感じます。その理由としては、現代の交通事情や住宅事情の変化によって、子どもたちが集団で遊ぶ「広場や空き地」がなくなりつつあることや不審者への対応等によって危機感が生まれ、保護者や大人の管理下以外では遊ばせることができなくなったということが考えられるでしょう。

また、「現代っ子　晴れた日でも　家の中」と言われるように室内でのゲーム遊びや YouTube を見て過ごす等、子どもたちの生活や遊び方の変化にも大きな理由があります。遊びは子どもの発達や人間として成長していくために非常に大きな役割を果たします。幼児期には、遊びそのものが身体のさまざまな機能を発達させ、運動能力を向上させていきます。小学校の学童期には遊びの場面を通して多くの人と関わり、運動能力だけでなく、社会生活を営んでいくために必要な社会性や集団性を身に付けます。中学校でも小学校の延長であると同時に、勉強の合間の息抜きや、ストレス解消といった意味合いもあるかもしれません。いずれにしろ、この時期の社会経験が大切だと思われます。言い換えれば、遊びを通して、“身体機能の向上”だけでなく、“知的能力の向上”や“集団性や社会性”を身に付けていくのです。

学校内の遊びに目を向けてみましょう。休み時間、子どもたちは運動場で遊んだり、教室で本を読んだり、おしゃべりをしたりします。同じクラスや同じ学年で遊ぶことがほとんどですが、時には異学年で遊ぶこともあります。このような遊びの中では、「ルールに従うことの重要性」や「ルールを作ることの意味」そして「他を思いやること」を知り、「他の友達と楽しく遊ぶためには、いかに関わるか」「多くの友達と仲良くするためには、どのような接し方が必要なのか」「遊びを長続きさせたり、発展させたりするためには、この友達とどのように接すればよいか」など、無意識のうちに頭を働かせ、「人との関わり」の中で必要なことを身に付けていきます。いわゆる「生きる力の基礎・基本づくり」です。

幸いにも、足原小学校ではほとんどの児童がグラウンドや教室で遊んでいます。（運動場でのボール遊びや鬼ごっこをしているお友だちはまわりに気を付けて遊んでくださいね。また、水分補給もお忘れなく。）足原小学校の児童は、いろいろな「仲間」、「空間」、「時間」を有効に使っているように思えます。このような遊びや活動には、前頭葉機能を発達させる可能性が大いに秘められているとも言われています。学校でも家庭でも、また地域でも、日々の遊びや活動を見直し、子どもたちの“　心と体”を大いに成長させていきたいですね。

＜児童のみなさんへ＞

友だちと運動場で遊んだり、おしゃべりをしたり・・・中休みや昼休みを楽しく過ごしましょう。勉強はもちろん、休み時間も大切な「学校生活の一つ」です。授業がはじまってから、ときどき、担任の先生から。「〇〇さんがもどってきていません。」という連絡が職員室に入ります。チャイムをよく聞いて行動しましょう。さらに、授業がはじめる前、掃除がはじまる前までに、トイレに行ったり手を洗ったりする時間も考えて行動できるようになるといいですね。
※ボールや一輪車などはもとの場所にきちんともどす「あとかたづけ」をしましょう。
※朝はきちんと「くつ」がそろっていますが、休み時間の後はそろえていない人がいます。「あとかたづけ」を守りましょう。